

① 2019年度 奨学金申請書

太枠線内に、申請時現在の状況を学生本人がボールペンで記入してください。

記入例は、「奨学金ガイドブック」P.28～29をご覧ください。

2019年 月 日

I 申請者	所属学部	法 文 経 営 国 際 人 環 CD デ 工 GIS 経 済 社 会 現 福 ス ポ 理 工 生 命 情 報				学年	学生証番号	
	申請者本人氏名	現住所 〒 _____						
	フリガナ	都道府県 _____						
漢字	TEL：自宅 ( ) 携帯 ( )							
		生年月日：西暦 _____ 年 ( 昭和・平成 _____ 年 ) _____ 月 _____ 日						
II 同居 一 生 計	就学者を除く家族(予備校生・浪人生含む)	続柄	氏名	現在の職業 (どれかに○をしてください)	在職年数 (どれかに○をしてください)	大学記入欄 A 収入・売上金額 万円 (切り捨て)	大学記入欄 B 控除額 万円	大学記入欄 所得金額 A-B 万円
		父		正社員または公務員 自営業・非正社員 自由業・生活保護 年金・無職・その他	0年 1年未満 1年以上			①
		母		正社員または公務員 自営業・非正社員 自由業・生活保護 年金・無職・その他	0年 1年未満 1年以上			②
				正社員または公務員 自営業・非正社員 自由業・生活保護 年金・無職・その他	0年 1年未満 1年以上			③
				正社員または公務員 自営業・非正社員 自由業・生活保護 年金・無職・その他	0年 1年未満 1年以上			④
				正社員または公務員 自営業・非正社員 自由業・生活保護 年金・無職・その他	0年 1年未満 1年以上			⑤
↑ 同居していても生計が別の兄弟・姉妹・祖父母は含まない。						所得金額合計	⑥	
計 の 家 族	①全員が記入：現在の家計収入(祖父母の年金は含まない)および生活費の出所について以下あてはまるものすべてに○をしてください。 ④給与 ⑤営業・農業所得 ⑥不動産・株・雑収入・山林所得 ⑦年金(老齢・障害者・遺族・企業) ⑧児童手当・児童扶養手当 ⑨社会保険(失業手当・傷病手当) ⑩生活保護 ⑪別れた父または母からの養育費や祖父母からの援助など別家計からの援助 *以下は年額も記入してください。 ⑫預貯金取崩し(年 _____ 万円) ⑬学生本人の奨学金(年 _____ 万円) ⑭その他(内容 _____ ・年 _____ 万円)							
	②[父・母]は[死亡・離婚・別居]その年月は西暦 _____ 年 _____ 月							
	③主たる家計支持者が[失職・無職]その年月は西暦 _____ 年 _____ 月で、その理由は[退職・廃業・その他( )]							
III 所得 から 差 し 引 か れ る 金 額	校就 生学 ・者 浪 人 生 除 く	続柄	氏名	設置者	就学者控除	通学別	大学記入欄 控除額 万円(切上げ)	
				国公立・私立・就学前	乳幼児・小・中・高・専修(高等・専門)・ 高専(1~3年次・4~5年次)・大学	自宅・自宅外	⑦	
				国公立・私立・就学前	乳幼児・小・中・高・専修(高等・専門)・ 高専(1~3年次・4~5年次)・大学	自宅・自宅外	⑧	
本人	学費 1・2年生：理工・生命・情報・デ工 115, 国際 104, GIS 108, スポ 87, その他の学部 82 万円 3・4年生：理工・生命・情報・デ工 112, 国際 101(2年生52), GIS 104, スポ 85, その他の学部 79 万円 通学 1~4年生：自宅通学 37・自宅外通学 84 万円						⑩	
↓ア～オに該当するものがあれば○を記入してください。(計算や金額の記入は不要です)								
ア	母子・父子世帯(父または母と経済力のない兄弟姉妹祖父母の世帯等) 同一生計内に定職のある兄弟姉妹祖父母や予備校生・浪人生がいる場合は非該当 【一律99万円】						⑪	
イ	障がいのある方がいる世帯(障がいのある方、公害疾病認定者、要介護3以上の方等) 障がい者である証明書添付(身体障がい者手帳・介護認定証のコピー等) 【1人につき99万円】						⑫	
ウ	家計支持者が別居(単身赴任)している世帯(別居による住居費・光熱費・水道費の実費) 赴任先の1カ月分の住居費・光熱費・水道費の領収書等のコピー添付 【71万円限度】						⑬	
エ	長期に療養を要する方がいる世帯(6カ月以上療養中の方、または療養を必要とする方) 医師等の証明書(診断書)と経常的に支出している金額の証明(領収書等コピー)添付						⑭	
オ	火災・風水害又は盗難等の被害を受けた世帯 罹災(被災)証明書や盗難届出証明書と支出増または収入減がわかるものを添付						⑮	
						[⑦~⑮の計] 控除額合計	⑯	
世帯人数 _____ 人 (本人含む)						[⑥-⑯] 認定所得金額	⑰	
本人を含む就学・未就学者が3人以上の場合(例3人→1人分、4人→2人分) _____ 人×⑩+ _____ 人×50=							⑱	
						[⑰-⑱] 第一種・第二種・学内認定所得金額	⑲	

\*裏面にも記入してください。

IV 申請する奨学金区分の番号に○をしてください(申請書類提出用封筒と一致するよう区分を選んでください)。

<b>1</b> 法政大学独自の奨学金	<b>2</b> 法政大学独自の奨学金/日本学生支援機構奨学金
---------------------	---------------------------------

V 日本学生支援機構奨学金に申請する場合(IVで2選択者)は、申請区分番号に○をしてください(申請書類提出用封筒・スカラネット下書き用紙も同じ区分を選んでください)。

<b>1</b> 第一種(無利子)のみ	<b>8</b> 第二種を貸与中だが、第一種へ変更希望
<b>2</b> 第一種不採用の場合第二種希望	<b>9</b> 第一種を貸与中だが、第二種へ変更希望
<b>3</b> 第二種(有利子)のみ	<b>10</b> 第一種を貸与中だが、第二種も併用希望
<b>4</b> 第一種・第二種併用貸与のみ希望	<b>11</b> 第二種を貸与中だが、第一種も併用希望
<b>5</b> 併用貸与不採用の場合第一種のみ	
<b>6</b> 併用貸与不採用及び第一種不採用の場合第二種	
<b>7</b> 併用貸与不採用の場合第二種のみ	

\* 採用後、少なくとも4ヶ月程度は月額を変更できません。特に5~7については、併用が不採用だった場合を考えて月額を設定してください。

申請時現在の状況をボールペンで記入してください。

VI 本人の履歴	本学入学までの履歴(予備校・自宅研修(自宅での入学準備等を含む)等)を記入してください。	
	西暦	年 月 日 高等学校卒業又は高等学校卒業程度認定試験合格(学校名の記入は必要ありません)
	西暦	年 月 日 ~ 西暦 年 月 日
	西暦	年 月 日 ~ 西暦 年 月 日
	西暦	年 4月(法政大学 1年次入学・2年次編入学・3年次編入学) ←○をしてください

VII 奨学金を希望するに至った家庭事情・経済事由等や、その他特に説明を要することを奨学金申請者の視点で具体的に記入してください。150字以上(実線を超えるマス以上)記入すること。

家庭事情															
	150														

VIII 誓約欄

申請する奨学金の種類および日本学生支援機構奨学金の保証の種類(人的・機関)を問わず、全員記入してください。印鑑は必ず各自のものを使用し、朱肉で鮮明に押してください(同一印鑑・シャチハタ等スタンプ印は不可)。連帯保証人欄は必ず父母(またはそれに代わる人)に記入・押印をしてもらってください(同上不可)。

学校法人法政大学総長 殿		2019年 月 日
<p>1 奨学金申請書の記載事項に相違ないことを誓約いたします。</p> <p>2 法政大学独自の奨学金の採用後、休学・停学・退学・除籍となった場合には、採用年度内に返還することを誓約します。</p> <p>(日本学生支援機構奨学金申請者について)</p> <p>3 日本学生支援機構奨学金の採用後、機構の定めた諸手続を誠実にいき、採用後には返還誓約書を提出することを誓約します。また、返還誓約書を期限内に提出できなかった場合、奨学金の採用取り消しに応じ、これに伴う振込金の戻入を直ちに行うことを誓約します。</p>		
本人 (署名・捺印)	現住所 〒	
	氏名	
連帯保証人 (署名・捺印) 父母のいずれか	現住所 〒	
	氏名	
		印
		印

異なる印鑑を使用

この書類に記入された個人情報、奨学金の選考に必要な資格の審査確認にのみ使用します。